

トップランナーもラストランナーも、自分のゴールを目指すだけ！

和田由美子 九州ルーテル学院大学人文学部心理臨床学科教授

社会科学系(実験心理学)

進路に対しては焦らず、自分の気持ちに正直に

学生の際は、大学院に進学して研究を続けたいと思っていました。しかし、いざ就職活動を始めた友人を見ると「自分は本当にこのあと5年も学生を続けるのか、続けられるのか」と不安になり始めました。指導教官に相談したところ「就職活動も大学院の受験勉強も、両方とも全力でやれ」とアドバイスを受け、「それもそうだな」と両輪でやることに。そのうち自分の気持ちが段々はっきりしてきて、4年生の夏休みには大学院へ進学することを決意しました。迷いが生じた時は、結論を急がず「両方やってみる」という選択もありだと思えます。

嫌悪の研究は、人間の心と行動の本質を解明する

現在、大学で基礎心理学の教鞭をとる傍ら、人間を対象として、嫌悪感の個人差を引き起こす遺伝、環境要因と、その進化的背景に関する研究を行っています。「自分でも理由はよ

くわからないけど、なぜかこう感じる、こう反応してしまう」というような現象、なかでも「生理的に受け付けられない」「生理的嫌悪を感じる」という嫌悪の心理学に関心を持っています。

現在研究しているのは、蓮の実の画像を人体にコラージュして肌に穴があいているように見せる『蓮コラ』という画像に対する反応とその個人差。この画像を見ると、感受性の高い人は吐き気や鳥肌など強い身体反応を示します。これらのことから蓮コラに対する感受性の強い人は「人の身体に起こっている現象を自分の身体に映し出す傾向が強いのではないか」という仮説を立て研究を進めているとこ

ろです。以前の女性研究者は“超優秀”な方ばかりで、平凡な女性研究者というのがあまりいなかったように思います。私も「自分のように平凡な人間には無理なのかな」と不安になることもありましたが、**トップランナーもラストランナーも、自分のゴールを目指して一生懸命走っています。**持てる能力も与えられた環境も人それぞれですが、ベストを尽くしてお互い頑張りましょう！



研究室にて、学部3年ゼミ生と「嫌悪を感じる異性の行動」の研究打ち合わせ中



卒論発表会終了後、2012年度ゼミ生と一緒に



Yumiko WADA

心理学 ②
博士課程 ②
博士課程 ②
大学助手 ②
研究所(研究員) ②
大学教員

One day

4:00 起床 仕事
7:00 朝食、家事
9:00 大学へ
講義・研究指導・研究など
19:30 帰宅
食事・団らん・入浴
22:00 就寝

就職か？
大学院か？
私も
悩みました

◎座右の銘
千里の道も一歩から
◎リフレッシュ方法
お茶やお酒を飲みながら
会話すること

profile

わだゆみこ / 筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士(心理学)。研究の関心は心と行動の生物学的の基盤。ラットの危険対処行動に関する研究で博士号を取得した後、研究所でマウス突然変異体を用いた行動異常原因遺伝子の研究に従事。現在は、大学で基礎心理学の教鞭をとる傍ら、人間を対象として、嫌悪感の個人差を引き起こす遺伝、環境要因と、その進化的背景に関する研究を行っている。



アンケートより
Q.研究者(教員)として仕事をしてきた中で失ったもの(諦めたもの)はありますか？(複数回答含む)
パートナー 3% 結婚 0% 出産 6% 自由な時間 57% ない 13% その他 3%